

1 文（文章）で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

- a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。
- b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。
- c ある要素に加点するかが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点（独立採点）すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

- a 答案中に大きな誤読と判定される内容（語句）などがある場合は、その内容（語句）を減点要素として示されている場合もあります。
- b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

- a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。
- b 脱字。
- c 文末の句点の脱落。
* 字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。
- d その他不適切と判断せざるをえない箇所。
e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。
たとえば「…とはどういうことか？」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。
また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。
* ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。
また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

- a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。
- b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。
- c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたものの。
- d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

広島大本番レベル模試 第一問 採点基準

大問一 問一 各2点

a ㉦ 寄与 b ㉦ 執着 c ㉦ 繁栄 d ㉦ 遮断 e ㉦ 封

大問一 問二 4点

閉じられた空間(7字)

※抜き出しのため、他の解答は不可

大問一 問三 4点

内在的な文化としての力を失ってしまった(19字)

※抜き出しのため、他の解答は不可

大問一 問四 1 4点

作りあげる(5字)

※抜き出しのため、他の解答は不可

■形式上の不備

- ・問四1の解答「作りあげる」が使われていない場合、要素C参照
- ・文末表現は要素E参照
- ・句点が文末にある場合は、**1点減点**

基準 配点： 8点

■模範解答	※要素Cを除き、各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容
A	他と混じらない
B	独自のものを
C	作りあげるための
D	閉鎖的な
E	空間のこと

- 採点方法：各要素単独採点
- 字数：三十字以内 **十四字以下のものは全体不可（0点）**

■要素A 他と混じらない：2点

- ・同意例：他と混じらず 等

■要素B 独自のもの：2点

- ・同意例：特有のもの／独特なもの 等
- ・「進化」「生き物」「文化」等に限定した表現は、**要素B 1点減点**

■要素C 作りあげる：2点

- ・「作りあげる」が使われていない場合、**全体不可（0点）**
- ・「ための」等の、目的を意味する表現の有無は不問
- ・「作り上げる」といった誤表記は、**要素C 1点減点**

■要素D 閉鎖的な：2点

- ・同意例：外界とのつながりが遮断された／隔離された 等
- ・「地理的に（隔離された）」「心の奥に封じ込まれた」等に限定した表現は、**要素D 1点減点**

■要素E 文末が「こと」「空間」等になっていなければ、**1点減点**

- ・「時空間」は許容

※理由を表す「から」「ため」「ので」になっている場合は、**1点減点**

■形式上の不備

- ・文末表現は要素D参照
- ・句点の抜けは、**1点減点**

基準 配点… 10点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A	限られた観点から見て優位なものだけが	B	生き残り、	C	多様で独自の特色を持った多くのもの
D	失われてしまう。				

- 採点方法…各要素単独採点（要素A Bと要素C Dは、どちらを先に記述しても可）
- 字数…制限なし

■要素A 限られた観点から見て優位なものだけが…4点

- ・同意例… 一つの見方による優位性が競争によって選抜され 等
- ・「競争力」「戦闘力」「偏った特徴」等に限定した内容は、**要素A 2点減点**
- ・「経済（10段落）」に限定した内容は、**要素A 2点減点**

■要素B 生き残り…1点

- ・同意例… 存続し 等

■要素C 多様で独自の特色を持った多くのものが…4点

- ・同意例… 多くの形質が 等
- ・「文化（11段落）」に限定した内容は、**要素C 2点減点**

■要素D 失われてしまう…1点

- ・同意例… 失われてしまいかねない／消滅する 等
- ・文末は「というデメリット。」等も可

※理由を表す「から。」「ため。」「ので。」「になっている場合は、**1点減点**

■形式上の不備

- ・ 文構造は要素A参照
- ・ 文末表現は要素F参照
- ・ 句点の抜けは、**1点減点**

基準 配点… 20点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

D	本来	大学の研究成果は	一つのテーマをじっくり追究した独創的なものであるべきな	A
	B		一つのテーマをじっくり追究した独創的なものであるべきな	
		C		A
			多くの情報の中から	
		E	必要なものを手軽に選んでまとめ直すだけでもよいと	
			誤解すること	F
			多くの情報の中から	
			必要なものを手軽に選んでまとめ直すだけでもよいと	

■採点方法…各要素単独採点

■字数…八十字以内 **三十九字以下のもは全体不可 (0点)**

■要素A 本来…：…(本)の内容)のに、…：…(末)の内容)…：3点

- ・ 「本」と「末」の内容が対比構造を用いて明示されていないならば、**要素A加点数無し**
- ・ 同意例… ……ようにあるべき大学の研究成果が、……となっている 等

■要素B 大学の研究成果は…2点

- ・ 同意例… 研究論文で 等
- ・ 「大学」または「研究」のみの内容は、**1点減点**

■要素C 一つのテーマをじっくり研究した独創的なものであるべきな…5点

- ・ 同意例… 何かを時間をかけて追究した独自のものであるべき 等
- ・ 「一つのテーマ」「独創的なもの」と同意の表現が無ければ、それぞれ**2点減点**
- ・ 「じっくり(研究した)」と同意の表現が無ければ、**1点減点**

■要素D 多くの情報の中から…2点

- ・ 同意例… 大量の情報… 等

■要素E 必要なものを手軽に選んでまとめ直すだけでもよいと…5点

- ・ 同意例… 要求されたものを取りあえず「こなす」だけ 等
- ・ 「手軽に選ぶ」「まとめ直す」と同義の表現が無ければ、それぞれ**2点減点**
- ・ 「必要なもの」と同意の表現が無ければ、**1点減点**

■要素F 誤解すること…3点

- ・同意例…勘違いすること／取り違えること 等
 - ・「(本末)転倒」を意味する表現であれば許容
 - ・文末が「こと」になっていなければ、**1点減点**
- ※理由を表す「から」「ため」「ので」になっている場合は、**1点減点**

■形式上の不備

- ・文末表現… 理由を表す「から」「ため」「ので」になっっていないければ、**1点減点**
- ・句点の抜けは、**1点減点**

基準 配点… 20点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

「カビが生える学問」に、外部から影響を受けることなく、閉じられた空間の中で時間をかけ

て新たな発見にたどりつくような

理想的な学問となる可能性を感じ取っているから。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…八十字以内 **三十九字以下のものは全体不可(0点)**

■要素A 「カビが生える学問」に…3点

- ・「カビが生える学問」の明示がなければ、**要素A加減無し**
- ・「カビが生える学問」に「カギカッコ」が付いていなくても不問

■要素B 外部から影響を受けることなく…3点

- ・同意例… 外部の情報に惑わされることなく 等

■要素C 閉じられた空間の中で…3点

- ・同意例… 研究室の中で 等

■要素D 時間をかけて新たな発見にたどりつくような…3点

- ・同意例… 遅々としても密度のあるものに練り直す 等
- ・「時間をかけて」と同意の表現が無ければ、**1点減点**

■要素E 理想的な学問となる可能性を…5点

- ・同意例… 最高の学問になるかもしれない 等
- ・「理想的な」と同意の表現が無ければ、**3点減点**
- ・「可能性」と同意の表現が無ければ、**2点減点**

■要素F 感じ取っている…3点

- ・同意例… 予感している 等

第二問

■採点の原則

- ① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文（章）の体をなしていないと判断される場合は、要素の有無に関係なく0点とする。
- ② 文脈のねじれがある、また主述の対応に問題があると判断される場合は、要素ごとに加点した上で、全体から1点減点する。
- ③ 漢字の誤り、送り仮名の誤り、句点の抜けについては、一つごとに1点減点する。

問一

■形式上の不備

- ・文末表現は要素D参照

基準 配点 10点
1点

■模範解答例

A

朝陽に比べて夕陽は気味悪くいやな色で、
B

C

幼い頃に大きな寺の屋根越しに初めて見た時に怯え泣き出したと
いう記憶があると思っ込んでいたから。

■採点方法・各要素単独採点

■字数制限なし

■要素A 「朝陽に比べて夕陽は気味悪くいやな色で」…4点

- ・「朝陽」とり比較はなくても可。
- ・「夕陽」の不気味さが表現されていれば可。

■要素B 「幼い頃に大きな寺の屋根越しに初めて見た時に怯え泣き出した」…4点

- ・「怯え」「泣き出した」はどちらか一方があれば可。同ニュアンスも可。
- ・幼少期の体験・経験であると読み取れなければ3点。
- ・寺の屋根の影に怯えたという説明でも可。

■要素C 「記憶があると思っ込んでいた」…2点

- ・ポイントは百合の「思っ込み」「決めつけ」であることが読み取れること！
- ・「記憶」「体験・経験」があったからというだけなら1点。

■要素D 文末が「くから・ので」また「くという理由」など理由説明の形になっていない場合は1点減点

■形式上の不備

- ・文末表現は要素 参照

基準 配点 10点

■模範解答例

A

戦争のせいとはいえ、両親が疎開した土地は思い出にも残らないような場所で、

B

両親がそんな土地を選んだ

C

ことを不可解に思う心情。

■採点方法・各要素単独採点

■字数制限なし

■要素A 「戦争のせいとはいえ、両親が疎開した土地は思い出にも残らないような場所で」…4点

- ・「戦争の性とはいえ」「両親が」はなくても可
- ・「疎開した思い出もないような土地(場所)」「または「疎開するついでに選んだだけの(赴任)地」というニュアンスの説明があれば可。
- ・「疎開地」ということが読み取れない場合は3点。

■要素B 「両親がそんな土地を選んだことを」…3点

- ・疎開で東京を離れた両親に対する心情である事が答案から読み取れれば可。
- ・「東京ではないそんな疎開先で自分が生まれたこと」という説明でもよい。但し、両親への心情であることが他の部分からでも読み取れることは必須。それがなければ2点とする。
- ・両親に対する「早く東京に戻って欲しかった」といった説明は2点とする。「両親に対する」が読み取れない場合は1点。

■要素C 「不可解に思う」…3点

- ・「不可解」は「不満」「納得がいかない」「残念」などでも可
- ・「不思議」は1点

■要素D 「〜心情・気持ち・思い」「〜と思っている」など心情説明の形になっていなければ1点減点

- 形式上の不備
- ・ 文末表現は要素E参照

基準 配点 8点

■ 模範解答例

A 袋小路の奥にあつて、 B 都会の喧噪や C 世間との関わりから D 隔離されているような家。

- 採点方法…各要素単独採点
- 字数制限なし

■ 要素A 「袋小路の奥にあつて」…2点

■ 要素B 「都会の喧噪や」…2点

- ・ 「静かな」だけではBの要素とは認められない。

■ 要素C 「世間との関わりから」…2点

- ・ 「世間」は「(他)人」でも可。

* 「周囲に(民)家がなく(静かな)」はB・C合わせて2点とする。採点例では、B・Cそれぞれに1点与える形にしている。

■ 要素D 「隔離されているような」…2点

- ・ B・Cと隔てられていることが明確に答案に示されていること。

■ 要素E 文末は「家」(住まい・住居)とするのが原則。そうならない場合は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素E参照

基準 配点 10点

■模範解答例

A 視界を遮る新しいアパートに 違和感を抱き、その建設を不快に思ったが、時を経てそれが景観に溶け込ん

B

C

でいくに従い そんな思いも薄れていった。
D

- 採点方法…各要素単独採点
- 字数制限なし

■要素A 「視界を遮る新しいアパートに」…2点

- ・「視界を遮る」は「(百合の)家を取り囲む」などの言い方でも可。
- ・単に「(新しい)アパート」の出現のみ記されている答案は1点。

■要素B 「違和感を抱き、その建設を不快に思ったが」…3点

- ・「違和感」「不快」はいずれか一つで可。同等の説明と認定しうる表現も可。

■要素C 「時を経てそれが景観に溶け込んでいくに従い」…3点

- ・「アパートのある景観になれていく」「当たり前と感ずるようになっていく」といった説明でも可。

■要素D 「そんな思いも薄れていった」…2点

■要素E 心情xから心情yへという推移が明確に説明されていると認められない答案は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素D参照

基準 配点 1 2 点

■模範解答例

A | | | B | | | C

幼い頃の家の周囲の景観が 時の経過とともに様変わりし、その頃の光景はもはや記憶として自分の中にしま込まれているものでしかないという心情。

- 採点方法…各要素単独採点
- 字数制限なし

■要素A 「幼い頃の周囲の景観が」…3点

■要素B 「時の経過とともに様変わりし」…4点

- ・幼少期に見た光景は既にないということが分かれば可。

■要素C 「その頃の光景はもはや記憶として自分の中にしま込まれているものでしかない」…5点

- ・「記憶として（百合の心の中に）残っている」という説明があれば可。

■要素D 「く心情・気持ち・思い」「く思っている」など心情説明の形になっていなければ1点減点

問六

基準 配点 5点

■解答

どんな場合でも不器用にしか動けそうにない(20字)

■誤字脱字などがある場合は、一つごとに1点減点

■形式上の不備

- ・文末表現は要素F参照

基準 配点 15点

■模範解答例

A 母には可愛がられ、影の薄い父も 経済的に家を支えるという最低限の責任は果たしていたので、両親に心
B 母には可愛がられ、影の薄い父も 経済的に家を支えるという最低限の責任は果たしていたので、両親に心
C 母には可愛がられ、影の薄い父も 経済的に家を支えるという最低限の責任は果たしていたので、両親に心
E の不和があることなど思いもよらず、百合の家庭生活はそれなりに平穏で 取り立てて不満はなかったとい
F うこと。

■採点方法…各要素単独採点

■字数制限なし

■要素A 「母には可愛がられ」…2点

- ・「母はそばにいてくれて」といった説明も可。

■要素B 「影の薄い父」…2点

- ・「ほとんど家にいない父」「家族と離れて暮らす父」といった説明も可。

■要素C 「経済的に家を支えるという最低限の責任は果たしていたので」…3点

- ・「最低限の」を欠く場合は1点減点。

■要素D 「両親に心の不和があることなど思いもよらず」…3点

- ・「心の不和があったとしても」「仲が悪かったかもしれないが」なども可
- ・両親の仲が悪かった(よくなかった)と断定している場合は1点。

■要素E 「百合の家庭生活はそれなりに平穏で」…2点

- ・百合にとって家庭生活は安定していたということか読み取れれば可。

■要素F 「取り立てて不満はなかった」…3点

- ・「感謝」という言い方は2点。

*E・Fの区別は微妙なところがあるが、Eは家庭生活の在り方、Fは百合の思いという区別で採点する。

■要素G 原則として文末は「〜(という)こと」となっていること。そうならない場合は1点減点。

第三問

■採点の原則

- ① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文（章）の体をなしていないと判断される場合は、要素の有無に関係なく0点とする。
- ② 文脈のねじれがある、また主述の対応に問題があると判断される場合は、要素ごとに加点した上で、全体から1点減点する。
- ③ 漢字の誤り、送り仮名の誤り、句点の抜けについては、一つごとに1点減点する。

問一 各2点

イ・エ

問二

■形式上の不備

- ・文末表現は要素 参照

基準 配点 10点

■模範解答例

A 多種多様な数多くの資料を集めて
B それを縦横に組合せ、
C 読む人の心に鮮やかな印象を与えるような美しい

文章に仕上げる書き方。

■採点方法…各要素単独採点

■字数制限なし

■要素A 「多種多様な数多くの資料を集めて」…3点

- ・執筆のためにたくさん材料を集めたということさえ分かれば可。

■要素B 「それを縦横に組合せ」…3点

- ・資料・材料を組み合わせるといふことさえ読み取れば可。

■要素C 「読む人の心に鮮やかな印象を与えるような美しい文章に仕上げる」…4点

- ・「鮮やかな印象を与える」「美しい」の二つの要素で、それぞれ2点という目安で採点する。
- ・「感動させる・を与える」「華麗な」などは同意とみなしてよい。

■要素D 答案が「書き方」の説明の形になっていない場合は1点減点。

問三

基準 配点 4点

■解答

心の編み目となって、人びとの記憶を結んでゆく言葉

■誤字脱字などがある場合は、一つごとに1点減点

- 形式上の不備
- ・ 文末表現は要素 参照

基準 配点 8点

■ 模範解答例

A 要求通りの素晴らしい歴史書を書き上げた B 歴史家の業績を正当に評価せず、 C 約束よりずっと少ない報酬し

D 支払わないという 卑怯な仕打ちをしたこと。

- 採点方法…各要素単独採点
- 字数制限なし

■ 要素A 「要求通りの素晴らしい歴史書を書き上げた」…2点

■ 要素B 「歴史家の業績を正当に評価せず」…2点

■ 要素C 「約束よりずっと少ない報酬しか支払わないという」…2点

■ 要素D 「卑怯な仕打ちをした」…2点

- ・ 「仕打ち」は「ふるまい」などでも可。
- ・ 「卑怯な」は「卑劣な」「不当な」「ひどい」などでも可。

■ 要素E 原則として文末は「〜(という)こと」となっていること。そうならない場合は1点減点。

問五 4点

才

問六

■形式上の不備

・文末表現は要素D参照

基準 配点 8点

■模範解答例

A 地位や身分に関わりなく、時が経過すればやがて人生を終えるしかないという意味で、人間は時間というも

B

C

のに支配されているということ。

■採点方法…各要素単独採点
■字数制限なし

■要素A「地位や身分に関わりなく」…3点

・具体的な説明でも可。

■要素B「時が経過すればやがて人生を終えるしかないという意味で」…3点

・単に「やがて死ぬ」といった説明になっている場合は1点。

■要素C「人間は時間というものに支配されている」…2点

・「支配」は「拘束」「束縛」などでも可。また「時(間)の流れには逆らえない」なども可。

■要素D 原則として文末は「〜(という)こと」となっていること。そうならない場合は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素 参照

基準 配点 1 2 点

■模範解答例

A

B

C

読者に強い印象を与え、その本をきっかけに新たな着想を得た作品が次々と生み出され、そのようにして生まれたつながりの中へとまた読者を誘い込んでいくような本。

- 採点方法…各要素単独採点
- 字数制限なし

■要素A 「読者に強い印象を与え」…3点

- ・「印象」は「感動」等でもよく、「読者を惹きつけ・魅了し」「読者の心に残り」等でも可。

■要素B 「その本をきっかけに新たな着想を得た作品が次々と生み出され」…5点

- ・新たな著作を生み出す契機となるということが読み取れば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は2点とする。

■要素C 「そのようにして生まれたつながりの中へとまた読者を誘い込んでいく」…4点

- ・読者の輪が広がってゆくというニュアンスが読み取れれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は2点とする。

■要素D 原則として「〜という・ような本（書物・書籍）」となっていること。そうならない場合は1点減点。